

(2015年度)

2 世界史問題 (60分)

(この問題冊子は23ページ、4問である。)

受験についての注意

1. 監督の指示があるまで、問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に、監督から指示があったら、解答用紙の右上の番号が自分の受験番号と一致することを確認し、所定の欄に氏名を記入すること。次に、解答用紙の右側のミシン目にそって、きれいに折り曲げてから、受験番号と氏名が書かれた切片を切り離し、机上に置くこと。
3. 監督から試験開始の指示があったら、この問題冊子が、上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は、HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能、計算機能、辞書機能などを使用してはならない。
5. 解答は、解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで、そのマーク欄をぬりつぶすこと。その他の部分には何も書いてはならない。
6. マークをするとき、マーク欄からはみ出したり、白い部分を残したり、文字や番号、○や×をつけてはならない。
7. 訂正する場合は、消しゴムでていねいに消すこと。消しきずはきれいに取り除くこと。
8. 解答用紙を折り曲げたり、破ったりしてはならない。
9. 試験時間中に退場してはならない。
10. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
11. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

1 地中海周辺地域における古典古代の伝統とその継承に関する次の文章を読んで、問(1～16)に答えなさい。

19世紀ドイツの歴史家(1)は、ヨーロッパ文明の淵源をヘレニズム(ギリシア的伝統)とヘブライズム(ユダヤ・キリスト教的伝統)に求めたが、地中海周辺世界の知的伝統の形成と継承の過程は複合的で複雑であり、この見方は示唆的ではあっても、十分に的確であるとは言い切れない。

たとえば、アレクサンドロス大王が築いた帝国は政治的には短命に終わったものの、これを(あ)きっかけに形成されたヘレニズム時代の知的伝統はすぐれて異種混交的であり、ギリシア的伝統の拡張というに留まらない。学問の中心地の一つであったエジプトのアレクサンドリアには一大研究機関が設けられ、多くのすぐれた学者を輩出し、彼らの活躍には異質(い)な文化伝統の邂逅(う)が大きな刺激を与えたと考えられている。ユダヤ教も、ヘブライ人固有の民族宗教として形成されながらも、(2)によるバビロン捕囚(え)の時代に、ゾロアスター教の宗教思想が反映されるようになり、それはキリスト教にも引き継がれた。

迫害を受けつつもキリスト教がローマ帝国に浸透していった時代には、ミトラ(ミトラス)教(お)やマニ教(か)などオリエントに由来する密儀性を帯びた諸宗教もローマの市民たちに人気を博していた。4～5世紀には小アジアで複数回の公会議(き)が行われ、392年には異教信仰の禁止が布告されてキリスト教の標準化と国教化が進んだが、以降も諸宗教やキリスト教異端諸派(く)の影響は帝国の領域の内外に長く残った。

7世紀に興ったイスラームはユダヤ教とキリスト教を先行する一神教と認めており、それらの教えを積極的に取り込むとともに、ギリシア、ローマの知的伝統をも継承し発展させた。9世紀の(3)に置かれた知恵の館などでは、ギリシア語からアラビア語への文献翻訳が盛んに行われ、それはやがて(4)によるアリストテレスの著作の注釈のようなすぐれた研究を生んだ。

(5) 同じころ、カール大帝の治世下に西ヨーロッパ世界の形成が進み、ビザンツ世界やイスラーム世界に対抗することになった。カール大帝の戴冠に際して、教皇(5)は西ローマ帝国の復活を宣言し、その継承の論理は教皇ヨハネス12世か

ら帝冠を受けた(6)などを介して神聖ローマ帝国に受け継がれていった。

しかし、古典古代の伝統の継承という面では、西ヨーロッパ世界は先進的なビザンツ世界とイスラーム世界からなお学ぶ立場にあって、11世紀末に(7)王国が征服したトレドでは、アラビア語からラテン語への文献翻訳が活発に行われたし、制度的な面でも、(8)朝が開設したアズハル学院、セルジューク朝支配下の各地に置かれたニザーミーヤ学院からはやや遅れて、ヨーロッパの大学は整備されていった。⁽⁸⁾ 最古の大学の一つである(9)大学などは、イスラーム医学の強い影響を受けた医学教育で知られた。

ビザンツ帝国は、皇帝ユスティニアヌスが(10)王国などを征服して一時的に領土を拡大したものの、東西から圧力を受けて次第に縮小し、15世紀に滅亡した。しかし、イスラームの支配下にあっても、五本山中のローマを除く4教会は分派しつつ存続し、コプト教会など諸教会はその知的伝統を守っていた。⁽⁹⁾ その意味ではビザンツ世界の知的伝統はイスラーム世界のそれと空間的には重なりながら保持されたといえる。

14世紀に始まるルネサンスは、古典古代の伝統の復活として開始されたが、⁽¹⁰⁾ それがイタリアに始まった事実には、東方貿易(レヴァント貿易)のもたらした富とともに、ここまで述べてきたようなビザンツ、⁽¹⁰⁾ イスラーム両世界をも含む知的伝統の継承と交流の過程が大きく働いている。そして同時に、ルネサンスがヨーロッパ近代の幕開けを告げる運動であり、長らく続いた東方世界の知的先進性に陰りが差し始めた転換点であったことにも目を向けるべきだろう。

問1 空欄(1~10)に入る語としてもっとも適切なものを、それぞれの選択肢(a~d)から1つ選びなさい。

- (1) a フォイエルバッハ b ドロイゼン c リスト
d サヴィニー
- (2) a カルデア b メディア c リディア d アッシリア
- (3) a ダマスクス b カイロ c バグダード d メッカ
- (4) a イブン=ハルドゥーン b フワーリズミー
c イブン=シーナー d イブン=ルシュド

- (5) a レオ1世 b グレゴリウス1世 c レオ3世
d グレゴリウス7世
- (6) a ルートヴィヒ1世 b ハインリヒ1世
c オットー1世 d ハインリヒ4世
- (7) a ナバラ b アラゴン c カスティリヤ d ポルトガル
- (8) a トゥールーン b マムルーク c アイユーブ
d ファーティマ
- (9) a サレルノ b オクスフォード c パリ d ボローニャ
- (10) a ランゴバルド b 東ゴート c ブルグンド
d 西ゴート

問2 下線部(あ)について、アレクサンドロス大王がイッソスの地でダレイオス3世に勝利してから没するまでの期間を、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 約5年 b 約10年 c 約15年 d 約20年

問3 下線部(い)の固有名を語源として、現代のヨーロッパ諸語で使われている単語の日本語訳としてもっともふさわしいものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 図書館 b 研究所 c 博物館 d 大学

問4 下線部(う)に当てはまらない学者を選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アルキメデス b プトレマイオス c ガレノス
d プリニウス

問5 下線部(え)は何年にわたったか、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 約20年 b 約50年 c 約80年 d 約110年

問6 下線部(お)を信奉してキリスト教会から「背教者」と呼ばれたのは誰か、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ネロ b ディオクレティアヌス c ユリアヌス
- d テオドシウス

問7 下線部(か)を青年期に信仰していた教父を、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アタナシウス b エウセビオス c ヒエロニムス
- d アウグスティヌス

問8 下線部(き)の公会議を古い順から並べたときに正しいものはどれか、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ニケーア公会議 → カルケドン公会議 → エフェソス公会議
- b カルケドン公会議 → エフェソス公会議 → ニケーア公会議
- c ニケーア公会議 → エフェソス公会議 → カルケドン公会議
- d カルケドン公会議 → ニケーア公会議 → エフェソス公会議

問9 下線部(く)のうち、フランク王国成立以前のゲルマン人を中心に多くの信徒を獲得したのはどれか、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アタナシウス派 b カタリ派 c アリウス派
- d ネストリウス派

問10 下線部(け)によりムスリムとの共存を認められたユダヤ教徒、キリスト教徒などは何と呼ばれたか、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a マワーリー b ジンミー c ウラマー d ワズイール

問11 下線部(こ)ではないのはどれか、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 『アテナイ人の国制』 b 『政治学』 c 『国富論』
- d 『形而上学』

問12 下線部(さ)で教鞭をとったのは誰か，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ジャーヒズ
- b タバリー
- c ラシード=アッディーン
- d ガザーリー

問13 下線部(し)について次の地図上で誤った位置が示されているのはどれか，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a コンスタンティノープル
- b アンティオキア
- c イエルサレム
- d アレクサンドリア



問14 下線部(す)の信徒が現在もっとも多数暮らす国はどれか，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a シリア
- b トルコ
- c イラク
- d エジプト

問15 下線部(せ)の作品ではないものを，選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

a



b



c



d



問16 下線部(そ)の貿易がヨーロッパ側にもたらした主要産品としてもっともふさわしいものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 木材 b 絹織物 c 銀 d 毛織物

2 近現代ラテンアメリカ史に関する次の文章を読んで、問(1～10)に答えなさい。解答は、選択肢(a～e)からもっとも適切なものを1つ選びなさい。

ラテンアメリカの近現代は、「独立国家の時代」とよばれる。(1)年には、アンデス高原において、トゥパク＝アマル2世(コンドルカンキ)による先住民反乱が起こった。この反乱は鎮圧されたが、後の独立運動に大きな影響を残した。欧州がナポレオン戦争に突入すると、欧州各国の植民地となっていたラテンアメリカにおいては、本国(宗主国)の混乱に乗じて、独立運動が盛んになる。

1791年、カリブ海域のサン＝ドマングにおいて黒人奴隷による反乱が起こった。この反乱から、(2)の指導による独立運動へと発展し、1804年にはフランス軍を撃退して、世界初の黒人共和国(ハイチ共和国)が成立した。その後、各地において独立運動の指導者が現れ、1810年以降の20年ほどの間に、ベネズエラ、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ペルー、メキシコ、ボリビアなどが独立を達成した。

ラテンアメリカ唯一の(3)植民地であったブラジルは、他の植民地とは異なる独立の道をたどった。ナポレオン軍侵攻の直前に、王家一族は、本国を脱出してブラジルに到達した。この王室の移転により、一時的にリオデジャネイロが首都とされ、ブラジルは、植民地から本国の一地域へ昇格する。ナポレオン失脚後、王は帰国したが、王子はブラジルにとどまった。この王子が、1822年に独立を宣言して、ブラジル初代皇帝となった。

独立後の新生国家が歩んだ道は平坦ではなかった。ほとんどのラテンアメリカ諸国において、独立後も内乱が頻発し、国土は荒廃し、経済は悪化した。この混乱期に実権を握ったのが、(4)とよばれる軍事力をもった実力者であった。(4)の出現は、力による政治的安定をもたらしたものの、民主主義を形骸化

し、独裁政権の伝統を生むことになった。

ラテンアメリカにおける本格的な民主主義革命は、1910年にメキシコで起こったものが最初とされる。マデロらの自由主義者が、1876年から続いた(5)独裁政権を倒した。その後、革命派は、土地改革をめぐる対立で分裂したが、1915年にカランサ派が勝利し、1917年に民主的憲法が制定されてメキシコ革命は終結した。この革命の中から発展した国民革命党とその後身である制度革命党は、70年以上の長期にわたりメキシコを支配した。

1959年のキューバ革命は、カストロらが指導した武装解放闘争であり、(6)独裁政権を倒した。1961年に、アメリカ合衆国が、キューバとの国交を断絶すると、カストロは、社会主義宣言を発表してソ連寄りの姿勢を強めた。1962年には、ソ連がキューバにミサイル基地の建設を図ったことがきっかけとなり、米ソによる核戦争の危機が発生した。最終的には、ソ連の(7)がキューバからのミサイル撤去に応じて、危機を脱した。

ニカラグアにおいては、(8)年にサンディニスタ民族解放戦線(FSLN)による革命が成功し、(9)独裁政権が倒された。アメリカ合衆国のレーガン政権は、このニカラグアの革命政権に圧力を加えるために介入し、内戦に発展した。1990年には、国連監視団のもとで総選挙が実施され、親米のチャモロ政権が成立した。アメリカ合衆国は、軍事侵攻によりグレナダやパナマにも親米政権を成立させた。

他方、古くはメキシコとアメリカ合衆国の戦争、最近ではベネズエラの(10)大統領によるG.W.ブッシュ政権批判など、ラテンアメリカにおける反米感情を示す史実も少なくない。

問1 空欄(1~10)に入る語句はどれか。

- (1) a 1756 b 1763 c 1776 d 1780 e 1789
- (2) a イダルゴ b コルテス c サン＝マルティン
d トゥサン＝ルヴェルチュール e ピサロ
- (3) a イギリス b オランダ c ドイツ d スペイン
e ポルトガル

- (4) a カウディーリョ b クリオーリョ c バルバロイ
d ムラート e メステイーン
- (5) a ウェルタ b サパタ c ディアス d ビリヤ
e ホセ=マルティ
- (6) a ヴァルガス b カセム c バティスタ d ペロン
e ルムンバ
- (7) a アンドロポフ b スターリン c チェルネンコ
d フルシチョフ e ブレジネフ
- (8) a 1968 b 1974 c 1979 d 1982 e 1985
- (9) a アジェンデ b ソモサ c ピノチェト d フジモリ
e ノリエガ
- (10) a オランダ b サルコジ c シラク d チャベス
e ミッテラン

問2 下線部(ア)の人物は、欧州各地のみならずエジプトにも遠征した。このエジプト遠征(1798~1799年)より前に起きた出来事はどれか。

- a アドリアノーブル条約の締結
b 阮福暎のベトナム統一
c デカブリストの乱
d ラクスマンの根室来航
e レザノフの長崎来航

問3 下線部(イ)の1人であるシモン=ボリバルが独立を指導したところはどれか。

- a アルゼンチン b コロンビア c ドミニカ d チリ
e メキシコ

問4 下線部(ウ)以前のメキシコにおける次の出来事を年代順に並べたとき、3番目にくるものはどれか。

- a 皇帝マクシミリアンの処刑
- b 自由主義派に対する保守派によるクーデタ(三年戦争)の勃発
- c ナポレオン3世によるメキシコ出兵
- d ファレスらの自由主義革命によるサンタ=アナ政権打倒
- e メキシコ初の共和政の誕生

問5 下線部(エ)を行ったアメリカ合衆国大統領の説明として正しいものはどれか。

- a アメリカ合衆国では初となるカトリック教徒の大統領であった。
- b 金とドルの交換停止を発表した。
- c ソ連(共産圏)の拡大を防止するために封じ込め政策をはじめた。
- d ニューディール政策を実行した。
- e ノルマンディー上陸作戦時の連合軍最高司令官であった。

問6 下線部(オ)の人物とともに新保守主義のリーダーとよばれた英国首相の説明として誤っているものはどれか。

- a アルゼンチンとのフォークランド戦争に勝利した。
- b 英国では初の女性首相となった。
- c 自由競争を重視し「小さな政府」づくりを進めた。
- d 人頭税の導入により国民世論の強い反発を受けた。
- e 南京条約以来155年ぶりに香港を中国へ返還した。

問7 下線部(カ)の人物(第43代アメリカ合衆国大統領)の説明として正しいものはどれか。

- a 戦略防衛構想(SDI)を表明した。
- b 中距離核戦力(INF)全廃条約を締結した。
- c 包括的核実験禁止条約(CTBT)の不支持を表明した。
- d マルタ会談において冷戦の終結を宣言した。
- e 湾岸戦争によりイラクをクウェートから撤退させた。

問8 エルサルバドルとホンジュラスの間で、1969年に、あるスポーツの試合が原因となって戦争が起こった。そのスポーツはどれか。

- a サッカー b バレーボール c ベースボール d ホッケー
- e ラグビー

問9 問8の戦争後のエルサルバドルにおいては、大量移民による失業や富と権力の集中といった社会問題が深刻化し、ついに政府軍と左翼ゲリラとの間で本格的な内戦になった。このエルサルバドル内戦の起こった年はどれか。

- a 1973年 b 1977年 c 1980年 d 1988年 e 1992年

問10 国連による次の会議のうち、ラテンアメリカにおいて開催されたものはどれか。

- a 環境開発会議(1992年) b 社会開発サミット(1995年)
- c 世界人権会議(1993年) d 地球温暖化防止会議(1997年)
- e 人間環境会議(1972年)

3 次の文章を読んで、問(1～11)に答えなさい。

人間は、異質な集団と出会った際、理解するよりも差異を見出し、ときに自らよりも下等に位置づけようとする。人の移動が広域化した近代の歴史は、そのよ₍₁₁₎

うな差異化と蔑視の歴史でもあった。

アメリカ大陸に到達したヨーロッパ人は、しばしば先住民を「劣った人間」とみ⁽¹²⁾なし、支配を正当化しようとした。それを批判した⁽¹³⁾(1)のような人物は、長いあいだ例外的であった。

17世紀から18世紀にかけて、ヨーロッパでは科学が発達し、諸学問の基礎が築かれる。⁽¹⁴⁾そのなかで、身体的な特徴から人間を理解しようとする人類学も生まれた。当時の人類学には、頭蓋骨や骨格の形状を知能や気質と結びつけて理解する傾向があった。植物学者として著名なスウェーデンの(2)は、人間の分類にも関心を寄せ、「白いヨーロッパ人」「赤いアメリカ人」「蒼いアジア人」「黒いアフリカ人」の4集団に分類したが、そこにはヨーロッパ人を頂点とする序列が想定されていた。

科学の発達と密接に結びついていた啓蒙思想も、異集団を蔑視する傾向を免れていない。(3)にもとづく(4)こそが人類のたどるべき道とみなされるため、この道のどこに位置しているかで序列が生じたのである。

19世紀になると、「科学的」な人間分析はさらに進められる。ダーウィンが『種の起源』⁽¹⁵⁾を著した(5)年代、フランスのゴビノーは『人種不平等論』を公刊し、高貴で勤勉な「アーリア人」が劣った他人種を支配すべきだと主張した。他方、イギリスの(6)は、社会進化論を唱えてダーウィンの所説を人間社会に適用した。

植民地支配が進むと、思想や学問において練り上げられた人種理論が政治の世界にも取り込まれることは避けられなかった。日清・日露戦争や(7)などを⁽¹⁷⁾経て国際社会での日本の存在感が増すと、ドイツ皇帝(8)は「黄禍」の表現でこれを警戒した。アメリカ合衆国では、19世紀半ばごろから(9)人などアジア系の労働者が増え始めたことにより、彼らに対する反感が高まり、数度にわたりアジア系移民を制限する法が制定されている。ナチス・ドイツによる大規模なユダヤ人虐殺は、このような人種意識の究極のかたちだった。⁽¹⁸⁾

第二次世界大戦後も、人種にもとづく差別や抑圧はつづく。アメリカ合衆国で、人種差別の撤廃を目指した公民権運動がひとつおりの成果を得るのは、1960年代半ばのことであった。南アフリカ共和国で人種差別政策(アパルトヘイト)が⁽²⁰⁾

廃止されるのは(10)年代をまたねばならない。

人種という概念は、それを語ることがタブー視されがちなこともあり、人びとの意識の奥底に潜むかたちで、根強く残っている。

問1 文章中の空欄(1～10)に入る語としてもっとも適切なものを、選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- (1) a ラス=カサス b フランチェスコ c イグナティウス=ロヨラ
d ベラスケス
- (2) a リンネ b コッホ c メンデル d ラヴォワジェ
- (3) a 言語 b 形質 c 物質 d 理性
- (4) a 輪廻 b 啓示 c 開発 d 進歩
- (5) a 1830 b 1850 c 1870 d 1890
- (6) a ベンサム b スペンサー c マルサス d チェンバレン
- (7) a 三・一運動 b 満州事変 c 江華島事件 d 義和団事件
- (8) a フランツ=フェルディナント b ヴィルヘルム2世
c ヨーゼフ2世 d ヴィルヘルム1世
- (9) a 朝鮮 b 中国 c ベトナム d フィリピン
- (10) a 1970 b 1980 c 1990 d 2000

問2 下線部(11)に関連して、移住や移民に関して述べた文として正しいものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 東ゴート人は北アフリカに建国した。
- b 12世紀より、ドイツ人はヴォルガ川以東に大規模な植民をおこなった。
- c イギリスはサイクス・ピコ協定によってユダヤ人のパレスチナ復帰を支援することを約束した。
- d 華僑は興中会において重要な存在であった。

問3 下線部(12)に関連して、アメリカ大陸で起こった出来事が年代順に正しく並べられているものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a アメリカ＝イギリス(米英)戦争 → アメリカ＝メキシコ戦争 → モンロー宣言 → ホームステッド法の公布
- b アメリカ＝メキシコ戦争 → モンロー宣言 → アメリカ＝イギリス(米英)戦争 → ホームステッド法の公布
- c アメリカ＝イギリス(米英)戦争 → モンロー宣言 → アメリカ＝メキシコ戦争 → ホームステッド法の公布
- d モンロー宣言 → アメリカ＝イギリス(米英)戦争 → アメリカ＝メキシコ戦争 → ホームステッド法の公布

問4 下線部(13)に関連して、先住民について述べた文としてもっとも適切なものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ローマは、前7世紀にエトルリア人の王を追放した。
- b ニューカレドニアのマオリ人は、イギリスの支配下に置かれた。
- c アメリカ合衆国では、ジャクソン大統領がインディアン強制移住法を制定した。
- d アメリカ合衆国は、スペインからハワイを獲得した。

問5 下線部(14)に関連して、科学や学問について述べた文として誤っているものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ジェンナーは種痘法を開発した。
- b ホッブズは社会契約説を唱えた。
- c コントは神秘主義を唱えた。
- d マイヤーとヘルムホルツはエネルギー保存の法則を発見した。

問6 下線部(15)に関連して、19世紀の出来事として誤っているものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ナポレオンが民法典を公布した。
- b 三国協商が完成した。
- c ファショダ事件が起こった。
- d 戊戌の政変が起こった。

問7 下線部(16)に関連して、ドイツの植民地もしくは支配地であった国・地域として誤っているものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a カメルーン b 青島(チンタオ) c マリアナ諸島
- d ナイジェリア

問8 下線部(17)に関連して、日露戦争によって日本が獲得した領土として正しいものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a 樺太の南半分 b 千島列島 c 台湾 d 沿海州

問9 下線部(18)に関連して、ナチスやナチス・ドイツについて述べた文として正しいものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a クーデタによって政権の座に着いた。
- b ヴェルサイユ体制の維持を主張した。
- c ミュンヘン会談によって、チェコスロヴァキアのズデーテン地方を領有した。
- d ポーランド侵攻後、独ソ不可侵条約を結んだ。

問10 下線部(19)に関連して、1964年に公民権法を成立させたアメリカ合衆国大統領の名として正しいものを、次の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

- a ケネディ b ニクソン c カーター d ジョンソン

問11 下線部⑳の国の歴史について述べた次の文の正誤の組み合わせとして正しいものを、下の選択肢(a～d)から1つ選びなさい。

ア 南アフリカ戦争によって、オランダ系のブール(ボーア)人が支配する体制が確立した。

イ 同国初の黒人大統領として、マンデラが就任した。

a アー正 イー正 b アー正 イー誤

c アー誤 イー正 d アー誤 イー誤

4 中国史上では王朝や新興勢力が支配領域を拡大しようとして別の勢力と激しく衝突することがあった。この衝突は支配領域周辺での戦闘となり、大河のほとりでおこなわれる例も多かった。そうして戦闘の勝敗は以後の歴史に大きな影響を与えることとなった。これに関連する次の文章(A～F)を読んで、問(1～20)に答えなさい。解答は選択肢(a～e)から選び、解答欄にマークしなさい。

A ^{がいか} 垓下の戦い

① 秦の始皇帝の死後、陳勝・呉広の反乱がおこった。『史記』には、陳勝が「(③)いづくんぞ種あらんや」という言葉を残したと記されている。この混乱の中で項羽をはじめとする諸勢力も挙兵した。彼らは秦を滅ぼしたのち、最終的には項羽と劉邦が全土の支配権を争うこととなった。一時は項羽が優勢であったが、劉邦が巻き返し、項羽軍を出身地である楚方面に追い詰めていった。その最後の戦いが淮水近くの垓下でおこなわれたのである。ここで勝利した劉邦は漢王朝をたて、敗れた項羽は自殺した。こうして秦・漢交代期の混乱は終結した。

問1 下線部①の戦いがおこなわれたのは23ページの地図上のどこか。もっとも適するものを1つ選びなさい。

a ア b イ c ウ d エ e オ

問2 下線部②についての記述のうち誤っているものはどれか。次のなかから1つ選びなさい。

- a 著者は後漢の史官であった司馬遷である。
- b 著者は皇帝の怒りを買って宮刑に処せられた経験を持つ。
- c 中国最初の紀伝体で書かれた史書である。
- d 黄帝から漢の武帝までの歴史を記している。
- e 「二十四史」などの正史を列挙する際、先頭に置かれる。

問3 (③)に入る言葉は何か。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a 皇帝貴族 b 鴻鵠燕雀 c 富豪豪族 d 諸侯大臣
- e 王侯将相

B 赤壁の戦い

④ 漢王朝の末期、華北を統一した曹操はさらに天下統一を目指して南下していった。この動きに反発した孫権と劉備は連合して曹操と戦うこととなった。その決戦場となったのが長江流域の赤壁であった。この戦いで曹操軍は大敗し、天下統一への動きは挫折した。こうして中国史上に例を見ない天下三分の形勢が作られたのである。⑥

問4 下線部④の戦闘がおこなわれたのは23ページの地図上のどこか。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a オ b カ c キ d ク e ケ

問5 下線部⑤の二人が建国した国は何であったか。以下の組み合わせの中から1つ選びなさい。

- a 孫権 = 呉, 劉備 = 蜀 b 孫権 = 魏, 劉備 = 呉
- c 孫権 = 蜀, 劉備 = 魏 d 孫権 = 呉, 劉備 = 魏
- e 孫権 = 魏, 劉備 = 蜀

問6 下線部⑥の形勢を作るべく努力した人物として知られるのは誰か。適する人を1人選びなさい。

- a 魏の曹丕 b 呉の孫堅 c 蜀の諸葛亮 d 蜀の関羽
- e 魏の司馬炎

C 白村江の戦い

⑦
朝鮮半島の三国時代には、唐という強大な勢力を背景に、三国間で、あるいは日本も巻きこんで、さまざまな戦いがおこなわれた。北部の高句麗は、一時、隋・唐を撃退したものの、結局、唐・新羅の連合軍によって滅ぼされた。その後、新羅は百済に圧力を加え、唐と結んで、百済救援のために出兵した日本軍と白村江で戦った。ここで大敗した日本軍は朝鮮半島における影響力をほとんど失うこととなった。一方、新羅は百済を滅ぼし、さらに唐を撃退して朝鮮半島の大部分を支配することとなった。⑧
⑨

問7 下線部⑦の戦闘がおこなわれたのは23ページの地図上のどこか。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a サ b シ c ス d セ e ソ

問8 下線部⑧の国に関する記述のうち誤っているものはどれか。次のなかから1つ選びなさい。

- a 最盛期は広開土王によって築かれた。
- b 広開土王の業績を記した碑文が残されているが、その解釈には諸説がある。
- c 4世紀初めに楽浪郡を滅ぼして朝鮮半島北部に進出した。
- d 5世紀に丸都城から漢城に遷都した。
- e 滅亡したのは7世紀後半である。

問9 下線部⑨に関する記述のうち誤っているものはどれか。次のなかから1つ
選びなさい。

- a こののち新羅は唐の冊封を受け、その制度・文物を取り入れた。
- b 仏教は百済から日本へと伝えられた。
- c 新羅では特権的な身分制度である九品制が施行された。
- d 10世紀に新羅を滅ぼしたのは高麗であった。
- e 新羅の統一から李朝の崩壊まで、200年以上続く長期政権が存在した。

D タラス河畔の戦い

唐は国内統一後、周辺諸地域に進出し、朝貢関係を結ぶ国々を確保していった。その足場として、7世紀に異民族を統治するための六つの(⑩)を設置し、懐柔政策を実施した。このような周辺への進出の結果、8世紀には東方に影
響力を強めつつあったイスラーム勢力と衝突することとなった。それがタラス河
畔の戦いである。ここで唐は敗れ、西方への進出は抑えられた。この時捕虜と
なった中国人が中国の先進的文化を伝え、さらにそれはヨーロッパ諸国にまで伝
わっていった。一方、イスラーム勢力は中央アジアへの進出を本格化させること
となった。^⑬

問10 (⑩)に入る言葉は何か。適するものを1つ選びなさい。

- a 節度使 b 都護府 c 折衝府 d 都督府
- e 五軍都督府

問11 下線部⑪の政策は何とよばれたか。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a 改土帰流政策 b 羈縻政策 c 冊封政策 d 満漢併用政策
- e 二重統治政策

問12 下線部⑫の時のイスラーム勢力は何という王朝の軍であったか。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a ササン朝 b ウマイヤ朝 c アッバース朝
d 後ウマイヤ朝 e カラハン朝

問13 下線部⑬に関連して、中央アジア最初のイラン系イスラーム王朝は何か。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a アケメネス朝 b セルジューク朝 c ファーティマ朝
d ホラズム朝 e サーマーン朝

E モンゴルの日本遠征(元寇)

モンゴル勢力は中国全土を征服したのち、西・南・東の各方面に進出していった。西方ではヨーロッパ諸国と戦って勝利し、南方ではビルマを征服した。東方では朝鮮半島を制圧したのち日本へ向かい、九州北部を襲撃したが、悪天候などのため失敗した。この戦いの結果、日本の政権はモンゴルを撃退したものの、弱体化した。またこの時期以後、モンゴル勢力の領域拡大の動きにもかげりが見えてきた。

問14 下線部⑭の戦いでドイツ・ポーランド諸侯連合軍を打ち破ったが、それは何とよばれた戦いだったか。適するものを1つ選びなさい。

- a トゥール・ポワティエ間の戦い b アンカラの戦い
c コソヴォの戦い d ワールシュタットの戦い
e レパントの戦い

問15 下線部⑮の時滅ぼされた王朝は何か。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a スコータイ朝 b パガン朝 c アユタヤ朝
d トゥンゲー朝 e アンコール朝

問16 下線部⑬の時、日本の政治を実質的に動かしていたのはどこか。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a 鎌倉幕府 b 六波羅探題 c 室町幕府 d 北朝(持明院統)
e 南朝(大覚寺統)

問17 下線部⑭に関連して、元の最大領域を実現した皇帝は誰か。もっとも適する人を1人選びなさい。

- a チンギス=ハン b オゴタイ=ハン c モンケ=ハン
d フビライ=ハン e チャガタイ=ハン

F 土木の変

元王朝の滅亡後、モンゴル系の部族はモンゴル高原へ逃れ、^{だったん}鞑靼とよばれていた。当時、この地域ではオイラトが強大で、(⑮)が^⑯一帯を統一して明王朝と激しく対立した。そこで起こった事件が土木の変であった。明の皇帝は現・河北省の土木堡で戦いに敗れ、捕虜となったのである。彼はその後に送還されて皇帝に復活したものの、北方の異民族対策は明が支配を進めてゆく上で大きな課題となった。この後、鞑靼には^⑰ダヤン=ハンが登場して強勢となり、オイラトを制圧することとなった。

問18 下線部⑱の事件が起こった土木堡は23ページの地図上のどこか。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a タ b チ c ツ d テ e ト

問19 (⑲)に入るオイラトの指導者は誰か。もっとも適する人を1人選びなさい。

- a エセン=ハン b アルタン=ハン c カザン=ハン
d アストラ=ハン e クリム=ハン

問20 下線部⑳に関連した次の記述のうち正しいものはどれか。もっとも適するものを1つ選びなさい。

- a 彼の孫がアルタン=ハンである。
- b 韃靼が強勢となったのは、彼が登場した16世紀後半であった。
- c 彼が支配したのは青海・チベットであった。
- d 彼はのちに順義王に封ぜられ、明に朝貢することになった。
- e 彼はチベット仏教を信奉し、モンゴルに広めた。

